

## 6 評価から評定への総括

### (1) 評価

オーラルコミュニケーションでの「聞く」「対話」「話す」「発表する」の4項目についてそれぞれ各単元において1項目ずつ評価するように年間計画を立てた。それに基づき次のような補助簿を作成した。(授業における評価)

(例) Part2 Lesson2 Giving Directions (道案内)

評価項目「対話すること」

具体の評価規準		評価の方法	1	2	3	...
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	道案内によく使われる表現を使い、言いたいことを相手に伝えているか。	ペアでの会話を観察する。	B	A	B	...
	あいづちやジェスチャー・聞き返しを用いて話し続けているか。	ペアでの会話を観察する。	A	A	B	...
表 現 の 能 力	道案内の表現を正確に使っているか。	ペアでの会話を観察する。	A	B	B	...
	道案内の表現を場面に応じて適切に使っているか。	ペアでの会話を観察する。	B	B	C	...
理 解 の 能 力	道案内の表現を正確に聞き取っているか。	ワークブックをチェックする。	A	A	B	...
	道案内の表現を場面に応じて適切に聞き取ることができたか。	プリントをチェックする。	B	B	B	...
知 識 ・ 理 解	道案内についての基本的な表現を理解しているか。	ワークブックをチェックする。	A	A	B	...
	建物などの名称を理解しているか。	ワークブックをチェックする。	B	B	C	...

### (定期テストにおける評価)

前期中間考査(リスニング・自己紹介・インタビューテスト等)

前期期末考査(リスニング・内容把握・自由作文・1分間スピーチ等)

後期中間考査(リスニング・内容把握・自由作文・インタビューテスト等)

後期期末考査(リスニング・内容把握・自由作文・1分間スピーチ等)

各テストにおいては「表現」「理解」「知識」をバランスよく試すテストとし、特に「話す」活動に対してはインタビューテスト、スピーチ等をもってペーパーテストに代えるものとする。

### (2) 評定

ウエイトバランス表(授業における評価と定期テストを同一の重みとした。)

観 点	評 価 方 法	配 分
関心・意欲・態度	授業における評価	10%
表現の能力	授業における評価	15%
	定期テスト(インタビューテスト等含む)	15%
理解の能力	授業における評価	15%
	定期テスト	15%
知識・理解	授業における評価	15%
	定期テスト	15%

